



## 新年のごあいさつ

国家公務員共済組合連合会 名城病院病院長

伊藤 隆之

平成29年<sup>ひのと</sup>丁酉の年頭にあたりご挨拶申し上げます。本年の平安と皆様のご健勝とご多幸を祈念いたします。

名城病院は名古屋城天守閣の南、三の丸の緑豊かな官庁街の地で55年目を歩みます。一年を振り返ってみますと、正面玄関南の一面に4月より中区在宅医療・介護連携支援センターを開所し活動を始めました。当院は急性期医療を中心に診療していますが、さらにこの地域における在宅医療と介護の連携を支援する業務も積極的に行い、皆様のお役にたてるよう貢献してまいります。

本年は、3月末で開院以来の産科診療を断腸の思いで終え、総合健診センター、内視鏡センター、

リハビリテーション部、救急センター、婦人科の充実を図ることを計画しています。長年ご利用いただきました皆様に御礼申し上げます。ご迷惑をおかけいたしますが、なにとぞご了承のほどお願い申し上げます。

名城病院に奉職して6年目、休憩時に周りを散策し、以前の姿に思いを巡らせています。今回は戦後を振り返ってみます。

終戦直後の三の丸、現病院の地は進駐軍宿舎、通称キャスル・ハイツとして米軍第25師団に10年間接收されていました。色とりどりの米軍家族の宿舎が、敷きつめられた芝生の上に点々と並んでいて美しい異国情緒をかもしていたそうです。

昭和26年5月、名城病院の前身、共済診療所が東海財務局裏に開設され、昭和27年5月大津橋病院(38床)と名称を改め病院として新発足しました。昭和34年10月、名古屋城が再建され、金鯱が再び輝きました。

昭和37年11月、名城病院(初代院長：青山進午先生)が現在地で開院いたしました。この頃は周りに建物等はありませんでした。昭和45年7月、東隣に愛知県警察本部、昭和54年3月西隣に名古屋高等裁判所が竣工しています。平成12年11月、12階建、病床数364床の新病院となり現在に至っています。周りの樹も成長し四季の装いを纏って皆様をお迎えしています。

本年も、各診療科で高度な医療、急性期医療、救急医療に傾注し、時代の要請に適した、親しまれ、信頼され、選ばれる病院といたしますので引き続きご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。



### 産科診療終了のお知らせ

当院はこれまで長きにわたり分娩を取り扱ってまいりましたが、このたび諸般の事情により、平成29年3月31日をもって終了することといたしました。それにともない、マザークラス・ベビークラス・母乳外来につきましても終了させていただきます。

当院で分娩を希望されている皆様には、多大なるご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解のほどお願い申し上げます。なお、婦人科診療につきましては、引き続き実施いたしますので、宜しくお願い致します。



診療部長

村上 文彦

むらかみ ふみひこ

## 診療部長就任ごあいさつ

あけましておめでとうございます。

現在心臓血管外科、病診連携部等を担当しておりますが、この度診療部長を拝命致しました。

ご承知の通り既に岩間診療部長が病院内外の管理に関して伊藤院長の補佐を勤めておりますが、外科部門の意見調整・意思統一を行うことを期待されてのことかと思考致します。

当院には平成14年4月より勤務しており、患者さんや各部門の同僚のみならず医師会の先生方、近隣病院の先生方とも知己を得ることができ毎日の診療も充実している次第です。

これからも「内」に関して診療行為は変わらず（とは言っても10数時間の手術や24時間の当直はそろそろ後輩達に譲りたいものですが…）、各部門の意見・意志をくみ取り今後に生かしていきたいと思えます。

「外」に関しては今までも御指導頂いている諸先輩方のお褒めにあずかることを目指していきたいと思えます。

以上簡単ですがご挨拶とさせていただきます。本年も宜しくお願い致します。

## 6階病棟紹介

6階病棟は、循環器科・心臓血管外科・泌尿器科の病棟です。また、CCU3床を有し、循環器センターとして24時間救急患者の受け入れを行っています。救急で運ばれてくる患者さんや心臓カテーテル検査、手術後の患者に急性期の看護を実践しながら安全・安楽に療養していただけるように日々努力しています。

循環器科は心臓カテーテル検査、冠動脈形成術、カテーテルアブレーションなどの入院から心筋梗塞、狭心症、心不全の緊急入院、心臓血管外科は冠動脈バイパス術や弁置換術、泌尿器科は前立腺生検、手術と幅広く、1日5～8名の入退院があり出入りの激しい病棟です。忙しい現場だからこそ笑顔・チームワークを絶やさずに、確かな看護技術を提供できるよう頑張っています。

入院患者の中で多くを占める

心筋梗塞、狭心症、心不全、不整脈等の疾患では緊急入院を余儀なくされます。ベッド上安静となり持続点滴、心電図モニターや酸素などがつけられます。患者さんは、急な環境の変化に戸惑いストレスを受けます。

私たち看護師は、ストレスが少しでも緩和し病状が改善できるように一人一人の患者さんの思いに寄り添い看護を提供しています。

看護師は2交代勤務を行って

います。夜勤帯は4人でサポートし合い勤務をしています。

専門職としての質の高い医療を提供するための自己啓発に努め、毎月勉強会とBLS講習会を行いスキルアップに励んでいます。

患者さんご家族が「安心」して入院生活や退院後の生活が送れるように支援し、いつも笑顔とやさしさを忘れずに「ぬくもり」を感じてもらえる看護を目指します。

### CCU (Coronary Care Unit) ——冠疾患集中治療室

CCUとは、循環器系、特に心臓血管系の疾患を抱える重篤患者を対象としたもので冠疾患集中治療室です。冠疾患とは、心臓に流れている冠動脈の疾患、つまり心臓疾患です。

CCUは心臓に関する疾患で、集中的に管理しなければならない患者さんが入ります。病院によってはICU一緒になっているところもあります。急性心筋梗塞や急性心不全など、CCUでは急変する疾患が多いので、緊急手術や、緊急心臓カテーテル治療など、すぐに対処できる体制になっています。心臓の疾患は、つまり循環動態に直結するので、集中的な管理が必要となります。

特に薬のコントロールも必要となりますので、輸液ポンプやシリンジポンプなどの医療機器がたくさんあるのも特徴です。ICUはすべての疾患が対象ですが、CCUは心臓の疾患に限られています。



## 整形外科

整形外科部長

辻

太

一

## 脊椎外科手術最近の話題

## ～ LLIF について～

脊椎外科(背骨の外科)領域でここ数年、話題になっているのがLLIF(Lateral Lumbar Interbody Fusion)という手術方法です。日本語に直訳すると『側方からの腰椎椎体間固定術』となります。

これは、従来、後ろから(背側)のみで行ってきた腰椎(腰の背骨)の固定術と異なり側面から背骨を固定する方法です。現在のところ側面からだけの手術というわけにはいかず後ろからの追加固定も必要ですが、より小さい侵襲(体への負担)を目指す最近の医療の流れの中で注目を浴びています。

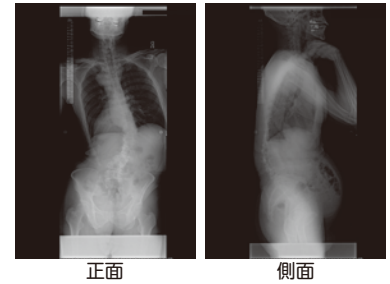
この手術の最大の利点は後方から神経を避ける操作が省かれるので出血が少なくなること、神経障害の危険が減ること、使

用するインプラントの形状が良いので我々が専門とする背骨の変形矯正に効果が認められることです。欠点はどんな手術でも共通することですが、手術手技に慣れが必要であること、適応が絞られるということ、そして合併症があることです。

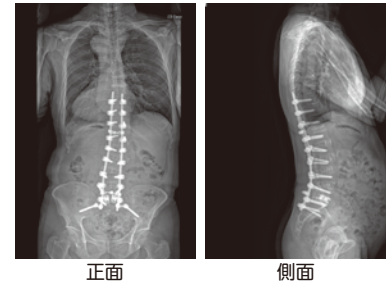
LLIFには使用するインプラントの種類によりXLIF(エックスリフ)とOLIF(オーリフ)があります。この手術は2013年に日本で行われるようになりました。当院では日本導入直後より手術を開始し現在までに約120例の症例があります。

これから腰椎固定術を受けられる患者さんは主治医からこの手術を提案されるかもしれません。その時は、この『わ』の内容

術前



術後



LLIF を用いた高齢者脊柱変形矯正手術  
(術者: 辻)

を少し思い出してみると理解が深まるかもしれませんね。

整形外科は、これからも安全で効果的な手術を目指していきます。

## 放射線部

診療放射線技師

宮

崎

裕

之

## バスキュラーアクセスにおける超音波検査について

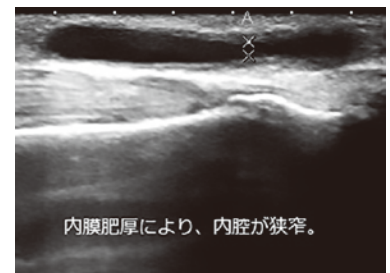
バスキュラーアクセスとは、血液透析(血液浄化)を行うために必要な血液の出入り口のことをいいます。血液透析では、定期的に血液を取りだし、浄化を行い、再度体内に戻す必要があります。手術でその出入り口を作成します。継続的に血液透析を行っている、そのバスキュラーアクセスルートに狭窄・閉塞・蛇行・石灰化など生じてくる場合があります。その維持管理を行うために超音波検査にて評価しています。

一番の特徴は、血管の内腔が見えることです。「狭くなっている」ではなく、「どれくらい(血管径計測)、どのように(病変部の

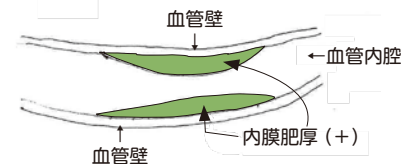
性状)狭くなっている」かがわかります。(画像1)

その他には、血液の流速を計測して血液透析が正常に行えるかなども評価しています。(画像2)

バスキュラーアクセスルートに狭窄・閉塞などの異常が生じてしまうと、血液透析ができなくなってしまいます。この場合、当院においては、カテーテル・バルーン(風船)を使用した血管形成術にて正常な状態に戻すことを行っています。一旦、閉塞してしまうと治療の難易度が極端に高くなってしまいますため、定期的に超音波検査を行うことによって適切なタイミングで治療が行えるようにしています。



(画像1)



(画像2)

最近では、放射線・造影剤を使用しない超音波装置での血管形成術にも取り組んでいます。より安全で安心できる検査・治療を提供できるように努力していきます。



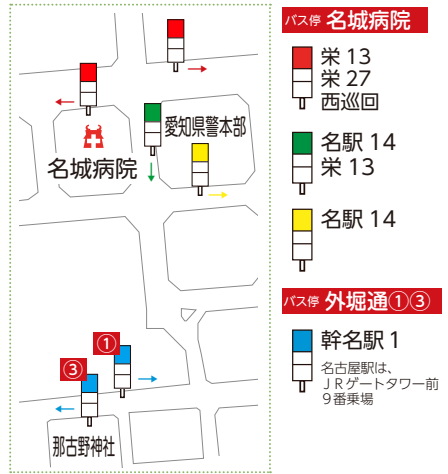
# 病院のアクセスについて

事務次長 木村 隆 秀



当院は最寄りの駅としては地下鉄「市役所」と「丸の内」があり、どちらも徒歩7～8分の距離にありますが、ご高齢の方には歩くにはつらいといった声もお聞きします。そこで提案なのですが、市バスをご利用されては如何でしょう。名城病院は市バスでのアクセスが意外と便利なのです。

「名城病院」という病院の名前の入ったバス停が目の前にあり、栄をスタート地点として、西区を中心に回る「栄27」、同じく栄から北区北部を回る「栄13」、名古屋駅をスタート地点に北区南部を通り、大曽根又は市役所まで回る「名駅14」がそれぞれ「名城病院」に停車します。さらにあまり知られていませんが、名古屋駅をスタート地点に、大曽根又は上飯田まで回る「幹名駅1」という路線があり、これだと名城病院から徒歩5分程度のバス停「外堀通」で降りていただくこととなりますが、本数が10分おきにあり、名古屋駅方面からとても便利です。地下鉄の駅から遠いと感じの方は、是非バスのご利用をご検討ください。



私たちと一緒に働きませんか？



## 看護職員病院説明会インターンシップ!!

病院説明会・見学会 インターンシップ

2月22日(水)	2月24日(金)	
3月14日(火)	3月16日(木)	3月17日(金)

詳しくは ホームページ又は 052-201-5311 人事担当 鈴木まで



### 編集後記

今年の干支「酉年」のにわとりは、新年一番に鳴く鳥のため縁起が良いとされています。「とり→とりこむ」ということで商売に繋がるとされ、商売繁盛にも縁起が良い干支とも言われています。十二支の申と犬の間にいるのが酉で、犬猿の仲の仲裁に入っていると、酉年の人は行動力があり、親切で世話好きであるという事の所以でしょうか。何か新しいことを始めるのには最適な年かもしれませんね。(Y・H)



<http://www.meijohosp.jp/>

## 名城病院診療等のご案内



名城病院は、病院機能評価の認定を受け、よりよい医療を提供できるよう努力しています。



### 診療科目

内科(消化器内科/呼吸器内科/腎・糖尿病内科)、循環器センター(循環器科/胸部心臓血管外科)、小児科/小児循環器科、外科、整形外科(脊椎脊髄センター)、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、歯科口腔外科、神経内科



### 診療受付時間

新患	午前 8:30～11:30
再来	午前 8:00～11:30



### 休診日

土・日・祝日・年末年始(12/29～1/3)



### 面会時間

一般	午後 0:30～8:00
新生児	午後 0:30～8:00 (授乳時間をのぞく)
ICU (家族のみ)	午後 0:30～4:30 午後 5:00～8:00



- ・ 時間外および休日の診療は救急外来にて受付しています。事前にお電話でご相談の上、お越しください。
- ・ 人間ドック、その他専門ドックのご相談、ご予約は総合健診センターで受付しています。



〒460-0001 名古屋市中区三の丸1丁目3番1号

052-201-5311 FAX 052-201-5318